

(1)「確かな学力」の育成に向けて

	<p>重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかる学習・できる学習を通して、基礎的・基本的な内容を確実に身に付ける。 		
	<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <p>京都市ジョイントプログラム・プレジョイントプログラム結果, 全国学力・学習状況調査結果 教職員アンケート・教室観察チェックシート・・①②③④⑤⑨ 観察・研究報告・・⑥⑦⑧ 保護者アンケート・・①⑨⑩</p>		
	<p>各種指標結果 (1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大枝中ブロック「学びのガイドライン」について, 保護者アンケートで認知度が低い(知っている 31.2%) ことが明らかになった。 ・学習確認プログラム (中1、4月)・全国学力・学習状況調査 (4月) で課題であった本校児童の学力定着は, ジョイントプログラム(9月)では, 若干の改善が見られた。 		
<p>自己評価</p>	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より小中一貫教育の一つの柱としてスタートした「学びのガイドライン」については, 教員自身が常時意識し徹底する姿勢がなくては浸透しない。教職員の自覚を高めることが先決。 ・学習確認プログラム (中1、4月)・全国学力・学習状況調査 (4月) では, すべて京都市平均を下回っている。標準化得点で過去5年間の推移を見ると, V字回復している途上にあるが, 算数科は横這いで改善できていない。 ・ジョイントプログラム(9月)では若干の改善が見られ, 高学年になるにつれ徐々に向上する傾向が表れた。 		
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期終了までに「学びのガイドライン」の再周知を図り、家庭との連携を強化する。 ・今年度の校内研究のテーマに沿い, 力をつける単元計画と毎時間の指導の工夫を続ける。 ・ノート指導・板書計画を継続する。 ・児童のこまりが予測される場面でこそ, 視覚支援や ICT 活用を心がける。 		
<p>学校関係者評価</p>	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が「勉強がわかりやすい」と回答しているのは, 先生方の努力によるものだと思う。落ち着いた学習環境の中で児童が授業に臨めているのはありがたい。 ・昨年度の課題の項目であった「家庭で宿題や勉強をしているかどうか」を問う項目では 90%以上ができているとの回答である。終わりの会などで今日の宿題のやり方を全員で確認するなどの細かな指導がこの結果をもたらしたのだと思う。今後はさらに児童一人一人に合った宿題の出し方を考えていただき, 家庭学習習慣づくりに取り組んでいただきたい。 ・放課後まなび教室を覗くことがあるが, そこでの学習のようすを見てみると, 宿題がパターン化しているように思う。もっといろいろな工夫した宿題を出すとよいのではないか。また, 児童も宿題ができたら終わりという姿勢であり, 自ら課題を見つけて自主的に学ぶという姿が見られない。このことも大枝の弱点ではなかろうか。 		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価日 平成 29 年 10 月 24 日</td> <td style="width: 50%;">評価者 大枝小学校運営協議会委員</td> </tr> </table>	評価日 平成 29 年 10 月 24 日	評価者 大枝小学校運営協議会委員
評価日 平成 29 年 10 月 24 日	評価者 大枝小学校運営協議会委員		

(2)「豊かな心」の育成に向けて

<p>重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の「いのち・こころ・からだ」を尊重し、おもいやりをもって行動する人間性を培う。 ・他人を思いやる心，生命や人権を尊重する心，自然や美しいものに感動する心，正義感や公正さを重んじる心をもって行動する人間性，社会性を培う。 	
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <p>各種調査での児童質問紙</p> <p>教職員アンケート・教室観察チェックシート・・・②③④⑤⑥⑨</p> <p>児童アンケート・クラスマネジメントシート・・・①④⑤⑦</p> <p>スクールカウンセラー報告・・・⑨ 保護者アンケート・・・①②⑧</p>	
<p>各種指標結果 (1回目)</p> <p>・学テ質問紙、児童アンケート ・クラマネ、いじめアンケート ・教職員アンケート</p>	
<p>自己評価</p>	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを友達に伝えることが楽しいと感じていない児童が 25%と児童の 1/4 を占めた。また学校が楽しい場ではないと感じている児童が 10%に達している。本校児童数 300 人と考えると 30 人がそのように感じていることに危機感を感じ、個別の対応を早急を実施した。一方、友達と仲良く遊び助け合っていることについては 90%の児童がそう思うと感じているのは、昨年度からロング昼休みに外遊びをする取組の成果でもあると考える。 ・クラマネの結果では、クラスの安らぎに関する指数が高く、総じてどのクラスも子どもたちにとって居心地の良いものになっている。学級経営がうまくいくことは豊かな心を育む上でも学力向上にとっても望ましいことだと考える。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」学習の再構築から児童の自信を創出する。 ・人間関係形成能力 (コミュニケーション能力・自己肯定感・挨拶・感謝・協力・信頼) の育成を基盤にした授業づくり，学級づくりを進める。 ・スマイル集会など児童会活動を活性化させ異学年の児童が互いに思いやる心を持ち、協力して活動できるようにする。
<p>学校関係者評価</p>	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の 90%以上の児童が「学校が楽しい」という結果であったが、「学校が楽しくない」と思っている児童がたとえ 1 人でもいるならば、その児童の困りに丁寧に対応していくことが大切だと思う。また、昨今児童に対する虐待や貧困などが社会問題となっている。家庭が楽しいところであるかというアンケートだけでなく、児童に「家庭は楽しいか」と問うなど、一人一人が家庭で大切にされているかも確認したい。 ・挨拶については、日常のようすから児童も保護者も、意識はしているようだが実際の行動としてはまだまだだと感じている。以前よりは良くなっているかもしれないが、やはりほとんど挨拶しない実態がある。保護者も同様に挨拶しない。児童はこれからの地域を担っていく存在である。目標は「卒業後も挨拶をする子ども」である。そのような姿になるまで、家庭・地域・学校で連携して挨拶の大切さを広めていきたい。
	<p>評価日 平成 29 年 10 月 24 日</p> <p>評価者 大枝小学校運営協議会委員</p>

(3)「健やかな体」の育成に向けて

重点目標	
健康や安全に留意して生活し、進んで運動に親しむ態度を養う。	
(取組結果を検証する) 各種指標 全国体力・運動習慣テスト, すこやか週間健康アンケート・・・①②④ 欠席状況, 保健室来室状況, スポーツ振興センター申請状況 教職員アンケート・・・③⑤⑥⑦ 保護者アンケート・・・①②	
各種指標結果 (1回目)	
<ul style="list-style-type: none"> ・健やか週間健康アンケート ・生活アンケート ・欠席状況・保健室来室状況 	
自己評価	分析 (成果と課題) <ul style="list-style-type: none"> ・早寝, 早起きの項目では, 高学年児童の半数が就寝時刻 22 時以降となっている。朝起きられない, 気分がすぐれない, 授業中眠たくなる, という児童が少なくないことの多くは, 就寝時刻に起因していると考えられる。 ・ろうか・教室でのけがは減少傾向したとはいえ, 廊下を走っているの衝突による打撲も皆無ではなく, 更なる徹底が必要。 ・朝体調がすぐれず, 様子を見ていてそのまま休むという児童が複数いるが, 体調だけでなく心理状態や家庭の養育状況に着目して対応していく。 ・日常的に体を動かす子とそうでない子の二極化がみられ, 外遊び習慣づくりを継続する。 ・週初めのラジオ体操では「体がすっきりする」と答えた児童が 81%にのぼり, 取組の定着と心身への一定の効果が読み取れる。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間の確保の重要性を児童にしっかりと指導するとともに保護者にもお便りや懇談会の場などで啓蒙し, 本気で取り組んでもらう。 ・廊下や教室でのけがは防止することができるものである。児童への指導の徹底と教職員の指導の温度差をなくし, 教職員全員で声をかけていく。 ・ラジオ体操やロング昼休みなど日常の中に体を動かす機会を積極的に作る。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・運動会の様子を見ていて, どの児童も競技や演技だけでなく, 他学年を応援することや係の仕事を一生懸命にやりきるなど, 目を輝かせて何事にも懸命に取り組む様子を見た。また, 応援団を中心にみんながまとまっていて, 学校全体の一体感を感じた。 ・「ジャンプアッププロジェクト」という京都市の指定を受けていることを学校便りで知った。健康づくり・体力づくりはとても大切だと思うので, 本校で取り組んでいる「ジャンプアッププロジェクト」の様子などを, もっと地域に発信していったらいいと思う。 ・携帯電話・スマートフォンの使用にあたっては, その特性を理解し節度を守らなければトラブルに巻き込まれることが十分に予想される。所持状況について学校も保護者も使用状況をもっと把握し, 危険性を大人自身が認知すべきだと思う。
	評価日 平成 29 年 10 月 24 日 評価者 大枝小学校運営協議会委員

(4) 学校独自の取組

	<p>重点目標</p> <p>家庭教育力の向上を目指す。</p>		
	<p>具体的な取組</p> <p>① 学校教育への関心を高める働きかけ（開かれた学校，社会に開かれた教育課程）</p> <p>② <u>望ましい生活習慣づくりへの働きかけ</u></p> <p>③ 家庭学習習慣づくりへの働きかけ</p> <p>④ 家庭での読書習慣づくりへの働きかけ</p> <p>⑤ スマホ教室，非行防止教室，薬物乱用防止教室等の参観と公開</p>		
	<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <p>HP アクセス数，参観・懇談参加人数・・・①②③④⑤</p> <p>観察・教職員アンケート・・・③④⑤</p> <p>保護者アンケート・・・①②③④</p>		
	<p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観人数は低学年で7割，高学年で3割。宿泊学習の説明会で8割。HP アクセス数は平日平均で児童数の1/3以下，家庭数の1/2未満。 ・家庭学習について，「そう思う」が前年度比，児童60%・保護者20%向上している。 		
<p>自己評価</p>	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートではどの項目も9割以上が肯定的であり，PTA や学校行事への協力依頼にも，必ず必要人数が出ていただけ。しかし，時間的に余裕のないご家庭もあり，学年だよりやHPを通じて学校の様子や方針をわかりやすく伝えることが大切である。 ・家庭学習について，確かな学力委員会（昨年度研究委員会）を中心に昨年度から協議してきた。今年度は当初から全体で足並みをそろえ発達段階に応じて内容を変えていくような取組を行い，保護者へも働きかけを多くしたことの成果として，6割の児童が「大体そう思う」から「そう思う」へ向上したと考えられる。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃忙しくて学校に来にくい家庭にこそ，学年だよりやHPを通じて学校の様子や方針をわかりやすく伝えることを心がけ，学校教育への関心を高め，理解と協力を引き出すように努める。 ・学力向上と規律ある生活態度の育成を念頭に，家庭の教育力を引き出す働きかけを意識した取組を行う。 		
<p>学校関係者評価</p>	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政からは「こども食堂の開催」の要請を受けていることもあり，地域には貧困の問題や家庭教育力に課題のある子どももいるのではないかと心配している。今後，身近にも起こり得るだろうし，地域全体で考えていかなければならない問題だと感じている。 ・PTA には学校の教育をサポートする上で，予算や積立金を活かしてほしい。例えば，こども新聞を購読継続する費用を賄う等の教育的な取組や支援を考えると良いのではないかと。 		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="193 1895 839 1935">評価日 平成29年10月24日</td> <td data-bbox="839 1895 1457 1935">評価者 大枝小学校運営協議会委員</td> </tr> </table>	評価日 平成29年10月24日	評価者 大枝小学校運営協議会委員
評価日 平成29年10月24日	評価者 大枝小学校運営協議会委員		